

令和7年度 東京都内湾水生生物調査 1月鳥類調査 速報

●実施状況

令和8年1月9日に鳥類調査を実施した。調査当日は中潮で、干潮が14:55(82cm)、満潮は08:45(171cm)であった(気象庁のデータ)。各地点の概況を下表に示す。

	葛西人工渚(東なぎさ)	森ヶ崎の鼻	お台場海浜公園
調査時刻	8:55-11:00	14:05-15:02	11:50-13:15
調査時間(分)	125	57	85
天候	晴	晴	晴
気温(°C)	6.2	8.8	9.9
風向	北北西	南南東	北
風速(m/sec)	2.5	2.6	1.7
備考	到着時は潮位が高く干潟が干出してないため、上陸地点で待機した後9:55に東なぎさに入った。	最干潮時刻でも干潟の干出は少なかった。	お台場海浜公園で噴水設置に向けた作業が行われていた。

●主な出現種等

	葛西人工渚(東なぎさ) ※沖合含む	森ヶ崎の鼻	お台場海浜公園
数が多かった 鳥類上位3種	スズガモ(7520羽)	コガモ(223羽)	カワウ(1464羽)
	カワウ(3636羽)	ユリカモメ(45羽)	スズガモ(159羽)
	カンムリカイツブリ(2244羽)	オオバン、アオサギ(23羽)	アオサギ(58羽)
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メダイチドリ、ダイシャクシギ、ハマシギ、ズグロカモメ、クロツラヘラサギ等、重要種として17種を確認。</li> <li>・シギ・チドリ類は6種を確認。干潟が干出し始めると徐々に飛来した。ダイシャクシギとイソシギは護岸付近で見られた。</li> <li>・ズグロカモメ2羽が浅瀬を飛びながら採餌。</li> <li>・東なぎさの護岸でクロツラヘラサギ4羽が休息。</li> <li>・ヨシ原でヒクイナ1羽が浅瀬を泳いでいたほか、カワセミ1羽が確認された。</li> <li>・海上でスズガモとカンムリカイツブリの群れが休息。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カンムリカイツブリ、イカルチドリ、イソシギ、コサギ等、重要種として7種を確認。</li> <li>・カモ類はハシビロガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロの7種が見られた。</li> <li>・護岸でイカルチドリ、イソシギ、ハクセキレイ、タヒバリが採餌。アオサギが構造物上で休息。</li> <li>・干潟は狭く、ユリカモメ、セグロカモメ、アオサギが休息していた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホシハジロ、スズガモ、オオバン、ハジロカイツブリ、トビ等、重要種として8種を確認。</li> <li>・第六台場と鳥の島の島でカワウが営巣中で、巣立った幼鳥も見られた。第六台場で734巣、鳥の島で308巣を確認。アオサギは58羽を確認した。</li> <li>・カモ類はホシハジロとスズガモの2巣で、工事箇所を避けて休息。</li> <li>・カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリが海上で休息。</li> <li>・トビ46羽を確認。</li> </ul>

●出現種と個体数

No.	目	科	種名	令和8年						重要種 選定基準						
				1月			森ヶ崎の鼻	第六台場	鳥の島	公園側	合計	文化財保護法	種の*1 保存法	環境省*2 RL2020	東京都*3 RDB2023 (区部)	
				葛西人工渚(東なぎさ)	沖合	合計										
1	カモ	カモ	ハシビロガモ						4							
2			オカヨシガモ						8							
3			ヒドリガモ						8							
4			カルガモ						6							
5			マガモ		2	2										
6			オナガガモ						12							
7			コガモ						223							
8			ホシハジロ		7	7			1			2	2			VU
9			スズガモ	6940	580	7520					159	159				留
10			ホオジロガモ	2		2										VU
11	ツル	クイナ	オオバン						23		9	9				CR
12			ヒクイナ	1		1									NT	CR
13	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ								1	1				NT
14			カンムリカイツブリ	2211	33	2244			1		2	2				留
15			ハジロカイツブリ	6		6					1	1				NT
16	チドリ	チドリ	イカルチドリ						1							EN
17			シロチドリ	25		25									VU	CR
18			メダイチドリ	1		1								国際		VU
19		シギ	ダイシャクシギ	4		4										CR
20			ミユビシギ	1		1										EN
21			ハマシギ	66		66									NT	VU
22			イソシギ	2		2			8		9	4	13			VU
23		カモメ	ユリカモメ	1		1			45		28	12	40			
24			ズグロカモメ	2		2									VU	
25			セグロカモメ	21		21			8							
26	カツオドリ	ウ	ウミウ	13		13					2		2			
27			カワウ	2136	1500	3636			18	1069	393	2	1464			
28	ペリカン	トキ	クロツラヘラサギ	4		4								国内	EN	CR
29		サギ	アオサギ	8		8			23	28	30		58			
30			コサギ						1							VU
31	タカ	ミサゴ	ミサゴ	1		1									NT	EN
32		タカ	トビ	1		1			3	24	22		46			NT
33	カワセミ	カワセミ	カワセミ	1		1										VU
34	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ	2		2			6		3	2	5			
35			タヒバリ						1		1		1			
計9目13科35種				24種	3種	24種	19種	3種	8種	10種	14種	0種	2種	6種	20種	

※種の分類・配列は「日本鳥類目録 改訂第8版」(日本鳥学会, 2024)に従った。

\*1 文化財保護法: 特天=特別天然記念物

\*2 種の保存法: 国際=国際希少野生動物種、国内=国内希少野生動物種

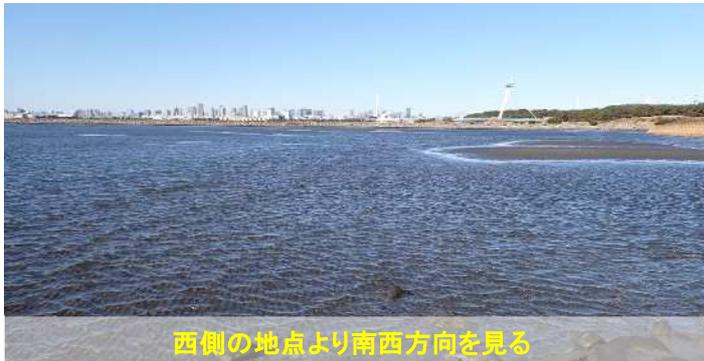
\*3 環境省レッドリスト2020: CR=絶滅危惧IA類、EN=絶滅危惧I B類、VU=絶滅危惧II類、NT=準絶滅危惧、DD=情報不足

\*4 東京都レッドデータブック2023(区部)2023年版: CR=絶滅危惧IA類、EN=絶滅危惧I B類、VU=絶滅危惧II類、NT=準絶滅危惧、DD=情報不足、留=留意種

<葛西人工渚(東なぎさ)>

○調査地点の状況

調査時間後半から干潟の干出が始まった。



○出現種(シギ・チドリ類)

ダイシャクシギとイソシギが護岸で確認され、干潟が干出し始めるとシロチドリ、メダイチドリ、ミユビシギ、ハマシギが飛来した。シロチドリは環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類(VU)、東京都レッドデータブックで絶滅危惧ⅠA類(CR)、メダイチドリは種の保存法で国際希少野生動植物種、東京都レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類(VU)、ダイシャクシギは東京都レッドデータブックで絶滅危惧ⅠA類(CR)、ミユビシギは東京都レッドデータブックで絶滅危惧ⅠB類(EN)、ハマシギは環境省レッドリストで準絶滅危惧(NT)、東京都レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。



○出現種(クロツラヘラサギ)

4羽のクロツラヘラサギが東なぎさの消波ブロックで休息していた。本種は種の保存法で国内希少野生動植物種、環境省レッドリストで絶滅危惧ⅠB類(EN)、東京都レッドデータブックで絶滅危惧ⅠA類(CR)に指定されている。



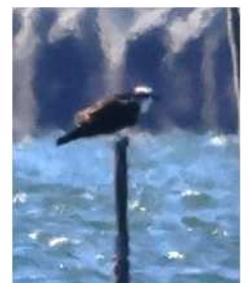
○出現種(ヨシ原の鳥)

浅瀬を泳ぐヒクイナと、ヨシにとまるカワセミが確認された。ヒクイナは環境省レッドリストで準絶滅危惧(NT)、東京都レッドデータブックで絶滅危惧ⅠA類(CR)、カワセミは東京都レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。



○出現種(ミサゴ)

杭にとまるミサゴが確認された。本種は環境省レッドリストで準絶滅危惧(NT)、東京都レッドデータブックで絶滅危惧ⅠB類(EN)に指定されている。



○海面の状況

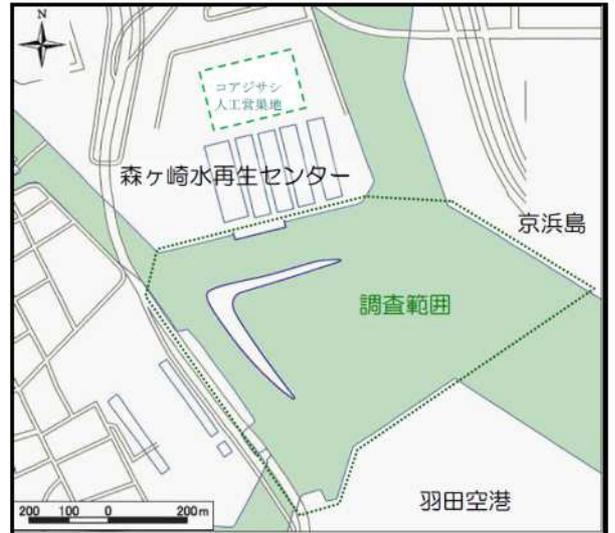
スズガモとカンムリカイツブの大きな群れが範囲内から沖合にかけて見られた。範囲内の個体数はスズガモ6940羽、カンムリカイツブリ2211羽であった。スズガモとカンムリカイツブリは東京都レッドデータブックで留意種に指定されている。また、岸付近の浅瀬をズグロカモメ2羽が飛翔して採餌していた。本種は環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。



<森ヶ崎の鼻>

○調査地点の状況

最大干潮時刻だが、干潟はわずかに干出したのみ。



○出現種(カモ類)

ハシビロガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロの 7 種が確認された。このうちホシハジロは東京都レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。調査地北東側の京浜島から森ヶ崎水再生センター付近でオカヨシガモ、コガモが採餌、南西側の護岸上でオカヨシガモ、ヒドリガモ、コガモ、ホシハジロが休息していた。ハシビロガモは南東側の護岸付近で見られた。



○出現種(シギ・チドリ類)

護岸で採餌するイカルチドリとイソシギが確認された。イカルチドリは東京都レッドデータブックで絶滅危惧ⅠB類(EN)、イソシギは東京都レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。



○出現種(オオバン)

水面で採餌するのが確認された。本種は東京都レッドデータブックで絶滅危惧ⅠA類(CR)に指定されている。



○干潟利用状況

干潟は狭かったが、ユリカモメ、セグロカモメ、アオサギが休息していた。



<お台場海浜公園>

○調査地点の状況

第六台場・鳥の島でカワウが多数営巣していた。



○出現種(カワウ)

カワウが抱卵・<sup>いくすう</sup>育雛中で、第六台場で 734 巣、鳥の島で 308 巣、合計 1042 巣が確認された。営巣数は令和 6 年度 1 月の 1143 巣と比べてやや少ない。第六台場ではヒナの鳴き声がよく聞かれ、大きく育ったヒナや巣立った幼鳥が確認された。鳥の島では大きなヒナの姿は 5 羽のみで、多くの巣は抱卵中もしくはまだ小さなヒナと考えられた。



○出現種(アオサギ)

アオサギは第六台場で 28 羽、鳥の島で 30 羽、合計 58 羽が確認された。第六台場では多くの個体が南側の林に降りて休息していたが、営巣に関わる行動は見られなかった。



○出現種(カモ類)

ホシハジロ 2 羽とスズガモ 159 羽が、お台場海浜公園北東側の海上で見られた。噴水の工事区域は船舶の往来があり、周辺海上にカモ類は見られなかった。



○出現種(カイツブリ類)

カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリの 3 種が確認された。カイツブリとハジロカイツブリは東京都レッドデータブックで準絶滅危惧 (NT) に指定されている。



○出現種(トビ)

上空を飛翔、樹林で休息する個体など 46 羽が確認された。本種は東京都レッドデータブックで準絶滅危惧 (NT) に指定されている。



<その他>

○ウミネコの繁殖

砂町運河でウミネコは確認されなかった。、京葉線の高架にかワウ 243 羽がとまっていたほか、周辺でイソシギ 1 羽、ユリカモメ 1 羽、トビ 1 羽、ノスリ 1 羽が確認された。



ウミネコが営巣する構造物



ノスリ

<トピックス>

-イカルチドリ-

森ヶ崎の鼻でイカルチドリ 1 羽が確認された。護岸のスロープ状になった部分をゆっくり歩きながら採餌していた。過去の調査では、平成 12 年度に葛西人工渚で記録があるのみで、およそ 25 年ぶり、2 回目の記録となる。本種はコチドリによく似ているが、より大型で、嘴が長く、目の周囲の黄色いアイリングが不明瞭な点などから見分けられる。



頭部の拡大



イカルチドリ (3 点とも同一個体)



参考：コチドリ (森ヶ崎の鼻で 6 月撮影)